

盛岡地域福祉センター 地域密着型通所介護 運営推進会議報告書

令和4年11月3日（木）

施設名：盛岡地域福祉センター

事業名：地域密着型通所介護

会議開催日時：令和4年9月に開催予定としていたが、新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から書面報告による開催・意見照会とした。

紹介依頼者：6名

（利用者1名 利用者家族1名 地域住民の代表2名 知見を有する者1名 盛岡市職員1名）

センター職員：所長 生活相談員 主任生活支援員

【利用者実績報告】

昨年よりスタートした地域密着型通所介護事業だが、今年度前期に発生した新型コロナウイルスによる休館の影響を受け、利用者減となっている。しかし、9月に入り人数は持ち直し傾向となって下半期に向かうようになった。今後も感染対策を踏まえて丁寧な支援を行うことで満足度を高めて利用者数の増加につなげていきたい。

【活動内容報告】

新型コロナウイルス感染症蔓延防止のために中止になる行事が多い中、

特に要望度の高い『買い物活動』についてお店をセンター内に招く『移動販売』という形にしたところ利用者様の高い評価を得られている。

また、午後活動においては他の方との接触や間隔が密になりやすい活動について見直しをかけ、空間を開けた活動内容でも利用者様が楽しみやすい動きのあるやり方を模索している。

【ひやりはっと報告】

報告書にまとめ、再発を予防する。再発予防策について、更に深めた対応をしていきたい。また、報告しやすい職場の雰囲気作りも大切にしていく。

【意見報告】

○委員の方より

いつも大変お世話になっております。日頃から気遣いある対応をしていただいております。認知症の母ではあり97歳の高齢ですが雨や雪が降ったり台風が来たりしても休まず通所して皆勤賞です。多分通所するのが楽しいのでしょう。

色々の行事に参加するのも楽しみだと思われます。行事もコロナ禍に対応・工夫され、変えながら行われている様でありがたいです。

優しさ、笑顔あふれる地域一番通所であり続けることを願います。

●センターより

ご意見いただきありがとうございます。私たちも利用者様が日々元気に来られる事で楽しく感じますし、楽しみと思われている状況を有難く感じております。もっと長生きして100歳越えを目指していただきたいと思います。

○委員の方より

2度の休館を余儀なくされたとのこと、感染拡大防止対策を徹底してもなお防ぎきれなかったものと推察いたします。新型コロナ発生以降、職員の皆様の業務量の増大、心労をお察しします。

外出行事に替わって移動販売を受け入れたとのこと、利用者さんの笑顔が目に見えます。(機会があれば地域の高齢者の方も利用できたらいいですね。町内の商店が撤退し、不便を感じている方が多いです。) 通所介護事業に加え、災害時の避難場所として、福祉サービス相談拠点としてたいへん頼りにしております。日頃からいざという時に備えて対処方法を相談しておくことが大切だと感じております。

●センターより

ご意見いただきありがとうございます。地域住民との関わりについては今後の地域福祉センター事業を長く続けていくための方策の一つとして重要と考えております。地域に住まわれている高齢者が困った時

にセンターを心の拠り所にしていただければと思い、その為に介護相談など力になれることも多いのではないかと考えております。同じ地域にいる仲間としてセンター施設利用や移動販売などでも助け合いを続けていけるのではないかと考えています。

○委員の方より

いつもお世話になっております。コロナ禍のため外出を控えている利用者が多い中、移動販売の企画はとても良いアイディアで、私の担当者も大変喜ばれておりました。いつ収束するか目途立ちませんが、今できる事（範囲）で利用者様の満足につながる企画をお願いします。入浴時のヒヤリハット報告ありました。裸の状態で事故に繋がりやすいため、十分に注意して対応していきましょう。

●センターより

ご意見ありがとうございます。コロナ禍でできる事・できない事が明確に分かれるようになりました。できる事の中から利用者様の要望を汲み取り、更に喜ばれるディサービスの実現を模索していきたいと考えております。そのためにこういった活動が喜ばれるのか、職員間で話し合いを重ねて満足度の向上へと目指していこうと思います。また、事故対応につきましては、いつも起こりうる事象ととらえて、日々気を付けると共に同じ過ちを繰り返さないようにしていきたいと思って

おります。

○委員の方より

新型コロナの感染拡大により、通常通りの運営が難しい中で、移動販売の受け入れという取り組みに関心を持ちました。収束後も継続できるものと存じますし、職員の皆様の創意工夫が感じられました。

再び感染拡大してきており気の抜けない状況が続いてしまうかと存じますが、今後も工夫しながら運営していただければと存じます。

●センターより

ご意見ありがとうございます。様々な場面における工夫の継続は難しいものがありますが、これからの施設運営並びに発展を目指す上で、必要なことだと認識しています。利用者様が安心して生活ができ、楽しいひと時を送るための工夫について考えていきたいと思います。

【次回開催予定】

令和5年2月頃